

AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION
CONTENTS

06 学長あいさつ

08 教育実習インタビュー

10 教育課程とカリキュラム

12 取得できる免許・資格

14 教員養成課程

46 現代学芸課程

62 大学院紹介

64 キャンパスライフ

年間行事、クラブ&サークル、施設紹介、
大学スケッチ、学生支援、学生生活、
国際交流、キャリア支援、
入試データ、インフォメーション

82 大学憲章

教員養成課程

幼児教育 ▶ 幼児教育選修	小学校教育との関連の中で幼児教育を深く学びます。体系的な教育体制と実践の場が子どもを理解する前提です。	16
教育科学 ▶ 教育科学選修・専攻	子どもや教育そのものについて深く学びます。日本の教育が直面する課題に対応できる幅広い知識と実践能力の養成が目的です。	18
情報 ▶ 情報選修・専攻	学校ではICTの積極的な活用と情報モラルの育成のために、情報科学や教育工学の考え方がとても重要になっています。	20
国語・書道 ▶ 国語選修／国語・書道専攻	人間性と社会・文化理解の根幹にかかわる教科にふさわしい学修環境を大切にしています。自分自身の生き方、感性も同時に磨きます。	22
社会 ▶ 社会選修・専攻	社会と教育にかかわる専攻です。人間と教育についての理解を深め、多方面から社会科教育に取り組む教員を育てます。	24
数学 ▶ 数学選修・専攻	良い教員になるには、同じ目標を持った友人と一緒に勉強することがベストです。子どもたちに楽しく数学を教える方法を学びます。	26
理科 ▶ 理科選修・専攻	自然への理解促進を前提に時代の求める心豊かな理科教員を養成します。自然科学と科学技術の観点から理科の本質を学びます。	28
音楽 ▶ 音楽選修・専攻	音楽と人間、そして社会との関係を見つめる豊かな感性を育みます。音楽のみならず深い教養もバックボーンにしています。	30
美術 ▶ 美術選修・専攻	制作や構想、鑑賞の知識を深め、美術を教える能力に優れた人材を育成します。美術の多様な領域について深く学びます。	32
保健体育 ▶ 保健体育選修・専攻	専門技能と理論の習得でバランスのとれた体育教師の養成を実現します。実技はもちろん、高度な専門知識も修得します。	34
家庭 ▶ 家庭選修・専攻	生活を科学するためには多彩な知識の修得と実践的能力が重要です。生活を科学的にアプローチする力を養います。	36
英語 ▶ 英語選修・専攻	外国語の習得はその国の生活・文化を理解することから始まります。実践的な英語能力を身に付け、英語教育に精通します。	38
技術 ▶ 技術専攻	産業はもちろん、人間形成の根幹としても重要なものづくりを考えます。科学技術の実証的な理解と高い実践力が得られます。	40
特別支援教育 ▶ 特別支援学校教員養成課程	特別な教育としてではなく個々の子どもの個性を見つけることが基本です。施設実習などを通して、子どもへの発達支援能力を磨きます。	42
養護 ▶ 養護教諭養成課程	ヘルスプロモーションの理念に基づき、子どもの発育・発達を支援できる、教育現場での健康の専門家を育てます。	44
国際文化 ▶ 国際文化コース	グローバルに世界の現状と日本を見つめ、新しい関係構築を追究します。世界の中の日本の生き方を学びます。	48
日本語教育 ▶ 日本語教育コース	日本語教育には、第二の言語習得と異文化間教育への理解が欠かせません。豊かな国際感覚と幅広い教養も磨きます。	50
臨床福祉心理 ▶ 臨床福祉心理コース	社会支援の視点には、多様な人間のあり方に理解を深めることが必要です。社会福祉学と臨床心理学の両面から取り組みます。	52
造形文化 ▶ 造形文化コース	新時代の「美」に取り組むには、実技と知識のバランスある習得が大切です。現代の社会と向き合ったものづくりを目指します。	54
情報科学 ▶ 情報科学コース	情報科学は、現代社会を支えるインフラストラクチャーです。新しい社会を創造していける人材の育成を目指しています。	56
宇宙・物質 ▶ 自然科学コース(宇宙・物質科学専攻)	科学技術は、世界の共有財産です。さまざまな物理現象を考察する観察眼を育成します。	58
分子・生命 ▶ 自然科学コース(分子機能・生命科学専攻)	私たちの生活にも生命科学が、密接なかかわりを持つ時代になりました。化学と生物学が融合した新たな立場から学びます。	60

現代学芸課程



本学のシンボルマークのモチーフとなっている「カキツバタ」(音楽棟前 用水池)

※「選修」と「専攻」について…本学では、初等教育(幼稚園・小学校)教員の養成を目的とした課程を「選修」、中等教育(中学校・高等学校)教員の養成を目的とした課程を「専攻」としています。